

発議第4号

まちづくり政策提言の提出について

標記の議案を別紙のとおり、遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和4年12月9日

遊佐町議会

議長 土門 治明 殿

提出者 遊佐町議会議員

高橋冠治

賛成者 遊佐町議会議員

赤塚 英一

同

高木 和幸

同

松永 裕美

同

佐藤 光保

(別 紙)

まちづくり政策提言

遊佐町において人口減少は大きな課題であり、この課題には多方面にわたる分野の施策が求められている。

本町では、第8次遊佐町振興計画の後期基本計画を策定され、その計画に沿って、町民、議会、行政が一体となり、具現化に向かって進む努力が必要である。

遊佐町議会は、町民との懇談会における民意を踏まえ、今後の町政に生かすべき政策を下記のとおり提案する。

記

(新小学校のスタート)

1. 多くの児童の通学方法が大きく変わる。交通安全対策や防犯対策を確実に講じられたい。
2. 施設整備などのハード面と、教育課程の編成などのソフト面の両面で、円滑なスタートに万全を期されたい。

(小学校統合後のまちづくりと空き校舎の利活用)

1. 空き校舎に移転する「まちづくりセンター」の実施計画と改良工事期間を含め、空き校舎利活用計画を、早期に示されたい。
2. 統合後の地区のありようは、今後のまちづくり全般に大きく関わる。地区の思いが適切に施策に反映されるよう、特段の配慮を講じられたい。

(カーボンニュートラルの取り組み)

1. 「2050年カーボンニュートラル社会の実現」に向け、国、県と連携協力し、実現性のあるカーボンニュートラル化への施策を展開されたい。
2. 町の未来を担う子どもたちの人材育成のため、カーボンニュートラルの学習の機会を設けられたい。

(洋上風力発電)

1. 前例のない巨大プロジェクトであり、検討すべき事項は多岐にわたる。町長は法定協議会における町民を代表する唯一の構成員として、町民の思いを的確に伝えられたい。
2. 町が、国や県の窓口として果たすべき役割は大きい。引き続き町民への情報提供に努められたい。

(新・道の駅整備事業)

1. 今後公表される整備計画を基に、活用する補助事業、地方債及び一般財源の見通しなど、財政計画を早期に示されたい。
2. 「道の駅ふらっと」や「森の公園遊ぼっと」その他周辺施設などのあり方についても、「新・道の駅」との共存の可能性などを含め、早期に示されたい。
3. 「新・道の駅」の運営にあたっては、経営方針を明確にし、地場産業の振興を基本にして、地域と顧客に寄り添える人材を確保されたい。

令和4年12月9日

遊佐町議会議長 土門 治 明

遊佐町長 時 田 博 機 殿